

箕面ロータリークラブ
2020-21
**WEEKLY
BULLETIN**



2020-21 年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーケ
国際ロータリー第 2660 地区 2020-21 年度ガバナー 簡 仁一

【2020-21 年度】 会長 河野優作 幹事 前田建司 広報・会報委員長 山本貴雄

事務局・例会場:〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel:072-724-2781 fax:072-724-1786
e-mail:mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP:http://mino-orc.net/ 例会日:毎週木曜日 18:30~

◆今週の例会プログラム◆

2020年9月17日(木) 第2454回例会
卓話『戦国武将を支えた禪の教え』
ゲストスピーカー 瀧瀬 尚純 様
(卓話担当 川端 崇且 会員)

◆前回例会◆

2020年9月3日(第2453回例会)
♪ロータリーソング 「日も風も星も」

【出席報告】

会員数 27名 出席者 21名
出席率 84%

◆会長挨拶◆

河野 優作

ロータリーには特別月間というものがあります。これはクラブだけでなくロータリアン一人ひとりがロータリー活動に参加するように強調するため、国際ロータリー(RI)理事会が指定した月間のことです。先月、8月度は会員増強、新クラブ結成推進月間でありました。当月、9月度は基本的教育と識字率向上月間となっております。また今月に付きましては日本独自の月間テーマと致しましてロータリーの友月間が設定されております。今回は以上の2つの特別月間についてお話させていただきます。

まず初めに基本的教育と識字率の向上です。これは1986年以来、国際ロータリーの強調事項であります。基本的教育と識字率は貧困問題や保健上の課題に取り組むためには必須事項であり、地域社会の発展を導き、争いのない世界を実現するには欠かすことのできない要素となっております。そこでロータリーでは基本的教育と識字率向上の重点分野に該当する数多くのプロジェクトが実施されており、国連ミレニアム開発目標を力強くサポートしています。識字率は現在、世界全体で向上し

◆次回の例会プログラム◆

2020年10月1日(木) 第2455回例会

卓話: 高橋 太郎 会員

ており教育における男女間の格差も縮小してきていますが今後をより良くしていくため基本的教育と識字率向上に関連した仕事に従事することを目指す、専門職業人のための奨学金支援等を強調する月間として設定されております。

続きましてロータリーの友月間です。これはロータリーの友月間が設けられる以前の雑誌月間の廃止に伴い2015~16年度より日本独自に9月を「ロータリーの友月間」として設けられました。ロータリーには地域雑誌と呼ばれる「友」誌というものが存在しています。これは全世界に31ある地域で発行されている世界各地のロータリーの友であり、その目的は地域の特徴ある活動をその地域のロータリアンが共有することとなっております。またロータリーの友と同じく掲載されている「The Rotarian」というものがあります。その「The Rotarian」の中からもいくつかの記事を全ての地域雑誌に掲載しているのは全世界のロータリアンが知っておかなければならないためであることを目的としています。以上のことからロータリーの友の購読はロータリアンの義務となっております。

皆様におかれましても以上のような基本的教育と識字率の向上に対するロータリーの取組、また目的を踏まえてロータリーの友をお読みになる事で、また違ったロータリーが発見でき、これからのロータリー活動の参考になるのではないかと思います。

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

◆幹事報告◆

前田 建司

- ・ウイルス感染メールへの注意について
- ・次回例会について

9月17日 卓話担当 川端崇且会員

◆委員会報告◆

社会奉仕委員長 西脇 悟

本日の午後2時より、箕面市交通安全推進協議会の幹事会が開催されました。

9月21日～30日まで、恒例の「秋の全国交通安全運動」が開催されます。実施内容としましては、広報活動、安全教育、運転講習会、安全啓発活動となっております。安全啓発活動では、毎年、箕面駅前にて交通安全のピラマキなどをしております。しかし今年度はコロナ禍のため、10個ある啓発活動のうち8個が中止となっております。残る2つにつきましては行うことになっておりますが、関連団体（箕面RCも含め）の参加は見合わせるのとことです。警察、箕面市、地区の方で対策を取りながら実施するのとことです。



◆ポリオ基金

芝野弘三郎会員、岡内重信会員、黄堂泰昌会員、庄司修二会員、尾崎夏樹会員

◇9月お誕生日お祝い◇

9月4日 尾崎夏樹 会員

9月24日 高橋太朗 会員



☆おめでとうございます☆

◆SAA報告◆

木村 知也

◆ニコニコ

黄堂泰昌会員：青会員、卓話よろしくお願ひします
 庄司修二会員：青会員、卓話よろしくお願ひします
 芝野弘三郎会員：イアン君、ようこそ！！青会員、卓話よろしく！！
 前田建司会員：青会員 卓話楽しみです。宜しくお願ひいたします
 青 敬祐会員：卓話よろしく
 西脇 悟会員：前はすっかり忘れていました。おわび
 高橋太朗会員：9/24 41才になります。どうもありがとうございます

河野優作会員：青さん、よろしくお願ひします
 木村知也会員、浦 収会員、尾崎夏樹会員、木村貞基会員、

◆米山奨学会

川端崇且会員：青会員、卓話よろしく
 片山秀樹会員：青会員、よろしくお願ひいたします
 上島一彦会員：青先輩、よろしくお願ひいたします！
 青 敬祐会員、木村貞基会員、黄堂泰昌会員、尾崎夏樹会員、
 西脇 悟会員、庄司修二会員、浦収会員、芝野弘三郎会員、
 木村知也会員、林たかみ会員、前田建司会員、河野優作会員

◆ロータリー財団

岡内重信会員：青さん、本日の卓話楽しみにしています
 前田建司会員、林たかみ会員、河野優作会員、尾崎夏樹会員、
 芝野弘三郎会員、浦 収会員、青 敬祐会員、西脇 悟会員、
 木村貞基会員、黄堂泰昌会員、上島一彦会員、庄司修二会員

◇米山奨学生 イアン パンニャー様◇

米山奨学生のパンニャーです。今月の生活を報告させていただきます。今、夏休み中で、新型コロナウイルスのせいで、帰省することができなかつたです。夏休みで、授業がないですが、指導教員に研究進捗を報告するため、いつも通り、研究しに行きます。

来年度から、就職活動が始まりますので、暇なうちに希望会社などを探し、就職活動のために、準備したいと思っています。はっきり就職したい会社をまだ見つけていなかったのですが、カンボジアで支店や工場がある日本会社に希望します。就職活動に関して、アドバイスなど頂ければ、ありがたいです。

最後に、皆さんから奨学金とサポートを頂き、日本での生活や勉強ができ、本当に感謝を申し上げます。



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

◆卓話◆

「ロータリー雑観 云うてええけど、云うたらあかん」

青 敬祐

私は、小学一年生の時に大坂から箕面に参りました。昭和18年頃の事で、当時は戦争中でしたので、父親が箕面に家を買って疎開してきたわけでありまして。そこから70年以上箕面に住んでおります。箕面小学校、箕面中学校、池田高等学校、甲南大学、それから親父のやっておりました石炭、コークス、石油、LPガスを扱う会社にはいり、今に至っております。本日は「云うてええけど、云うたらあかん」というお話をさせていただきます。



例えば、電化製品を探している会員がいたとします。電気屋を営んでいるロータリアンに「ロータリークラブのよしみで値引きしてよ」とお願いすること、これは云うてはいけませんが、電気屋さんの会員から、ロータリアンの仲間として「ちょっと安くしてあげようか」くらいのことは云うてもええんちゃうかな、ということです。それは世の中、現金で買ってくれるお客様には安く売って、手形で買ってくれるお客様には定価で売ることが当然あることで、ロータリアンの仲間との間にそんな話があってもいいのところがうのかな、と思います。ただし、これは「四つのテスト」の第2番目「みんなに公平か」には抵触することになります。しかしながら、電気屋さんが全人類と同じ値段でものを売ることが出来ないのと同じことで、これは云うてええことやと思っております。この話は今からお話しすることの枝葉の話なので、どうぞお忘れください。

さて本題に入らせて頂きます。私が会長ノミニーであった時の話であります。ある日突然、会長挨拶で「本クラブは分割することになりました」という発表がありました。一般会員はもちろん、私も青天の霹靂でありました。会長エレクトには内々で話はしていたのですが、再来年の会長である私には一切相談がなかった。これに対して、どうして私に相談がなかったのか、と聞いたところ「忘れていた」といわれました。この言葉に、私はひどく自尊心を傷つけられました。私は指名委員会にて再来年の会長を託され、総会で正式に認められたのです。その私が無視された形になったわけですから「一寸の虫にも

五分の魂がある。馬鹿にするにも程がある。理事会に一言ものを言わないかん！」となりました。

今も昔も理事会で決まったことに対して異議を申し立てる、という事はあってはならないことであり、異議を申し立てるという事はクラブを提訴する、という事に他なりません。ですから私はクラブを提訴する構えを持ちました。

それが発端となり、約2年にわたって、すったもんだをした訳であります。ガバナーは、就任すれば新しいクラブを一つ作らなくてはならないという使命がありましたので、70名程在籍し3、4年続いているクラブは、ガバナーから「あなたのクラブは拡大してください」と言われることが常でありました。当時箕面RCは70名を越して何年も経っておりましたから、箕面にお声がかかったようです。そして、その時に箕面RCの会員が地区の役員をしておりましたから「それやったらうちがやりましょう」と地区で約束をしてきたそうです。私はクラブ分割に対するの質問を色々したのですが、全く答えはありませんでした。この時まだ何も決まっていなかったのです。このクラブ分割の話は突拍子もない、単なる思いつきで行ったようにしか思えず、私としては、どうしても認めるわけにはいきませんでした。

このような事で長い紛争が起こったわけです。この間にガバナーが中心となって、解決にむけての説得に何度もお越しになられました。その時に必ず「青さんの意見を変えるためには、どんな条件がありますか」と言われましたが、私は一貫して「そのような話はやめてください。条件は一切ありません。この話はなかったことにしてください」と突っぱねました。結局クラブ総会での投票となり3票差で拡大反対が成立しました。理事会決定が覆されたのです。参考までに申し上げますと理事会での投票もほぼ半々だったそうです。その後、この決定に反対の会員は、それぞれ三々五々退会届を提出して出て行かれました。最終的には20人以上の会員が去って行かれました。クラブ分割の騒動はこれにて治まりましたが、クラブとしては散々たる結果となってしまったのです。

このような騒動を起こした私は、クラブを去る時に皆さんにこの事をお話しして、お詫びをして去りたいと常々思っておりましたが、コロナ禍のこの現状では、もし今私がコロナに罹った場合には1週間くらいしか持たないだろうと思われまますので、今日、お詫びの心を込めて卓話をいたしました。皆様、ご清聴ありがとうございました。

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか